

N8103-239/247
OS ブート専用 SSD ボード

サポート機能

本 OS ブート専用 SSD ボードは、下記のサポート機能を有しています。

- RAID レベル 1 専用
- キャッシュメモリなし
- ESMPRO を使った通報監視をサポート
- 480 GB NVMe M.2 SSD を標準で 2 台搭載
- ホストインターフェースは PCIe Gen3 x4 対応
- 再構築(リビルド)
- SSD のホットスワップ交換機能(N8103-247 のみ)
- SSD の書き込み保証値
 - N8103-239 : 400TBW(Tera-Byte-Write)
 - N8103-247 : 400TBW(Tera-Byte-Write)

再構築(リビルド)

再構築(リビルド)は、SSD を交換した際に、SSD のデータを復旧させる機能です。

システム稼働中でも電源を落とすことなく、障害が発生した SSD を交換する、この機能をホットスワップと呼びます。そしてホットスワップにて交換された SSD に対して自動的に実行されるリビルドをホットスワップリビルドといいます。

- N8103-239の場合、SSDの交換はシステムの電源OFFが必要になります。
SSDの交換後、電源ONすることでリビルドは自動で開始します。
- N8103-247の場合、SSDのホットスワップ交換が可能です。(本体装置及び実装位置によってはホットスワップ不可です。)
-
- 本製品のリビルド時間は約80分です。ただし、負荷によって時間が延びることがあります。
- リビルドの完了はシステムユーティリティまたはiLO Webで確認することができます。

RAID の機能

RAID (Redundant Array of Independent Disks) とは

直訳すると独立したディスクの冗長配列となり、物理デバイスを複数まとめて扱う技術のことを意味します。

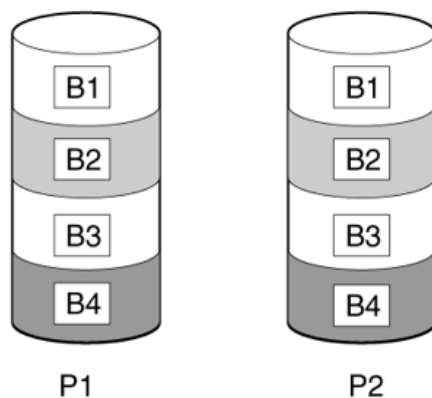
つまり RAID とは複数の物理デバイスを 1 つのアレイとして構成し、これらを効率よく運用することです。これにより単体の大容量物理デバイスより高いパフォーマンスを得ることができます。

本製品では、RAID1 の機能により一方の物理デバイスに障害が発生した場合でも残っているデータやパリティからリビルド機能によりデータを復旧させることができ、高い信頼性を提供することができます。

RAID1

1 つの物理デバイスに対して、もう 1 つの物理デバイスに同じデータを記録する方式です。この方式を「ミラーリング」と呼びます。

1 台の物理デバイスにデータを記録するとき同時に別の物理デバイスに同じデータが記録されます。一方の物理デバイスが故障したときに同じ内容が記録されているもう一方の物理デバイスを代わりとして使うことができるため、データは失われません。

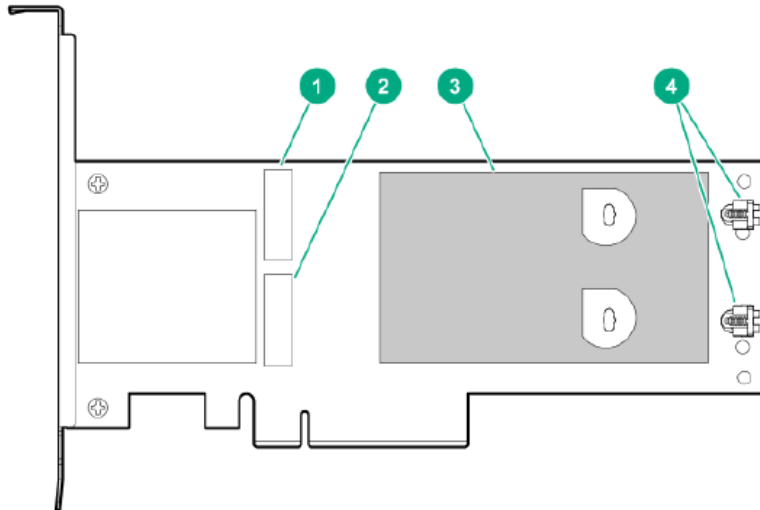


サポートOS及び、搭載可能な本体装置などの情報はシステム構成ガイドにて確認してください。

製品ラインナップ

N8103-239 480GB OS ブート専用 SSD ボード (RAID 1)

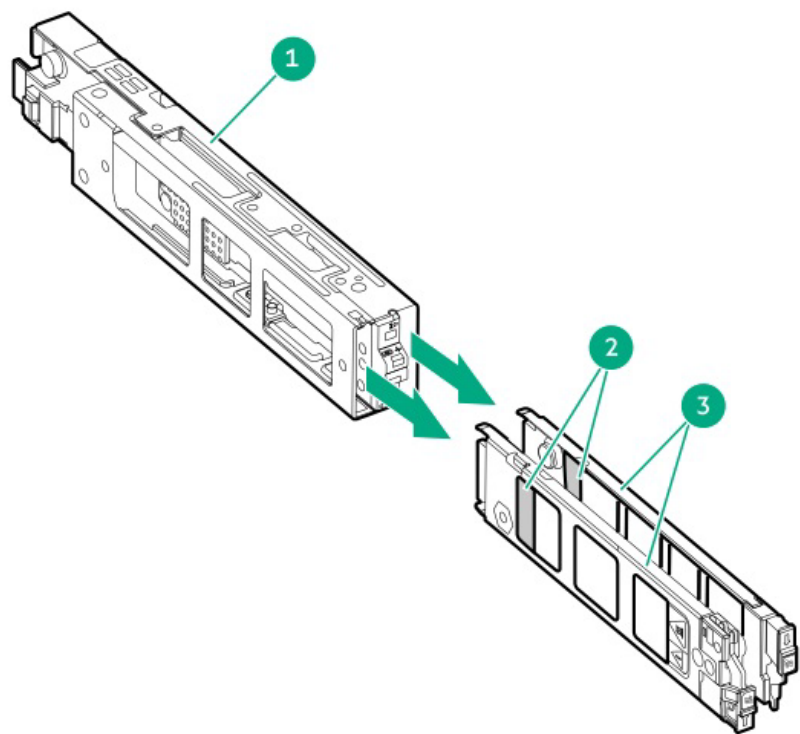
各部の説明



番号	説明
1	ドライブベイ 1
2	ドライブベイ 2
3	サーマルインターフェースパッド
4	M.2 ドライブ固定ラッチ

N8103-247 480GB OS ブート専用 SSD ボード (RAID 1, HS)

各部の説明



番号	説明
1	ブートドライブケージ
2	M.2 スロット
3	キャリア